



学校教育目標「豊かな心と 確かな学力 つながりあう学校」

NO.11

庄内西小学校だより

令和4年(2022年)7月1日発行

校長 西口肇子



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。



ネットやスマホに潜む危険やトラブル

ネットやスマホは、安全に正しく使うことができれば、とても役に立つ便利なものですが、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったり、誹謗中傷やいじめの温床になったりするなど、危険な側面もあります。

デジタル社会に生きる子どもたちが、被害者や加害者にならないように、学校では、メディアリテラシー(メディアの情報を見極め理解するとともに、正しく使いこなす能力)や情報モラルについて学びます。

今年も、3年生以上の児童が「スマホケータイ安全教室」の出前授業をうけます。保護者の受講も可能です。ご来校の際は、名札着用の上体育館門よりお入りください。

『スマホケータイ安全教室』 体育館にて行います。

7月13日(水) 2時間目(9:35~10:20) 3,4年生

3時間目(10:45~11:30) 5,6年生

《個人情報流出するリスク》

お子さんは、自分や友だちの写真、悪ふざけの動画など、安易な気持ちでアップしたり、軽はずみにコメントを書き込んだりしていませんか? ネット上に公開された個人情報や書き込みは「digital tattoo(デジタルタトゥー=電子の入れ墨)」と言って一度拡散してしまうと完全に削除することができません。



《悪意ある大人とつながるリスク(犯罪に巻き込まれるリスク)》

2019年に大阪市の小6女児が誘拐され600km離れた栃木県で発見された事件。2020年に横浜市小4女児が誘拐され、2日半にわたり車で連れまわされた事件。どちらも、女児と加害者の男との接点はオンラインゲームでした。近年、SNSなどネット上で知り合ったという見知らぬ人の「なりすまし」や「誘い出し」はあとをたたく、誘拐されたり淫らなことをされたり、最悪の場合、殺されたりという事件もおこっています。

《ネット依存・スマホ依存のリスク》



オンラインゲームを何時間もやり続け、注意してもきかない。Youtubeなどの動画を夜遅くまで長時間見続けている。SNSが気になってスマホが手放せない。など、依存傾向の見られるお子さんはいませんか? 依存症になってしまうと、イライラして攻撃的になったり、感情のコントロールができず泣きわめ

いたり、逆に、何もやる気がなくなったりと、日常生活に支障をきたすようになります。生活リズムの乱れ、学力低下、不登校、ひきこもり、うつ病などの原因となることも多いと言われています。

《オンラインゲームにおけるリスク》

オンラインゲームは、離れていても、誰でもゲームに参加できるため、コロナ禍でさらにゲーム人口を増やしたといわれています。大人にも子どもたちにも大人気ですが、一方で、様々な問題も引き起こしているようです。

【ケース1】

バトルロイヤルゲーム(大勢が一度に戦い最後に残った一人が勝者となるゲーム)に夢中になるあまり、ボイスチャットでは(クソ、消えろ、黙れ、死ね、殺せ)などの暴言を連発。普段の言葉づかいまで悪くなってしまった。

【ケース2】

ゲームが下手だからと、ボイスチャットでひどい悪口を言われ、キック(「パーティ」から外すこと。ボタン一つでできる。)された。

【ケース3】

仲間と一緒にプレイしているため途中では抜けづらく、長時間ゲームを続けた結果、睡眠不足による体調不良や、視力低下などの健康被害を引き起こした。

【ケース4】

ボイスチャットで、本名や住所など個人情報を教えてしまった結果、言葉巧みに誘い出されたり、自宅まで押しかけられたりした。

【ケース5】

ゲーム内でのアイテムを購入するため、保護者に無断で課金を重ねたため、高額(150万円以上)の請求書が届いた。



お子さんがオンラインゲームをする際は、こういった内容のものなのか? 個人情報が漏れるような行為をしていないか? どのくらいの時間遊んでいるか? 等、きちんと把握し、管理していただきたいと思います。18歳未満のインターネットの利用については『保護者の責務』と、法律で定められています。今一度、お家でのルールの確認をよろしくお願いします。

保護者の皆さんにお願いしたいこと~お子さんを守るために~

パソコンを共有するときも、スマホを持たせるときも、子ども用のアカウントを作成し、保護者が管理するようにしてください。

ペアレンタルコントロールの活用

スマホやタブレット、ゲーム機の利用状況(プレイ時間やネットワーク利用の制限、課金等の管理、対象年齢の確認等)を保護者が把握し、安全管理をできる機能です。知らない人と繋がったり、高額請求されたりしないよう必ず設定してください。

フィルタリング(あんしんフィルター)の活用

有害な情報やうっかりアクセスによるトラブルから子どもを守る機能です。スマホ使用者が18歳未満である場合、設定を行うことが義務化されています。

レーティング(年齢区分マーク)の確認

ゲームソフトやアプリには対象年齢基準があり「〇歳以上」と表示されています。お子さんにゲームをさせる際は、必ず、確認してください。